

## 2026(令和8)年度公共用水域の水質測定計画(案)について

「公共用水域常時監視の効率化及び重点化についての基本的考え方」(以下「効率化・重点化の基本的考え方」という。)を踏まえて、以下のとおり「2025 年度公共用水域の水質測定計画」の測定回数等を変更し、「2026(令和8)年度公共用水域の水質測定計画」(以下「令和8年度水質測定計画」という。)を作成することとする。

## 1. 「効率化・重点化の基本的考え方」に基づく変更

大阪府内で水質の常時監視を行っている河川 139 地点及び海域 22 地点について、過去5年間の水質の状況と「効率化・重点化の基本的考え方」を踏まえて、効率化及び重点化する測定地点を抽出し、測定回数等を変更した内容は表1のとおりである。

注1) 測定回数の変更欄の丸囲み「①、Θ」は数年に一度調査を実施するローリング調査であることを示す。円内の数字は測定回数を示し、「-」は測定を実施しないことを示す。

注2) 既存のローリング調査による変更(①→Θ、Θ→①等)は記載していない。

【河川水質】効率化：40 地点(のべ86 地点※)、重点化：13 地点(のべ19 地点※)

【河川底質】既存のローリング調査による変更のみのため、表記載なし

【海 域】既存のローリング調査による変更のみのため、表記載なし

※近畿地方整備局が測定する地点において、過去の測定結果等を踏まえた標準的な測定回数の考え方を当該局にて新たに整理したことに伴い、年間測定回数が令和7年度に比して増減することとなる地点も含む。

表1 測定地点ごとの測定回数の変更内容

○環境基準点 ●準基準点

測定機関	河川水域名	河川名	環境基準	水生生物の保全	測定地点	環境基準点	測定項目(分類)	測定項目	増減	前	→	後	変更理由
大阪府	梅川	梅川	A イ	生物 B イ	石川合流直前	○	生活環境項目	pH	減少	24	→	8	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
大阪府	梅川	梅川	A イ	生物 B イ	石川合流直前	○	生活環境項目	DO、BOD、COD、SS	減少	12	→	4	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
大阪府	神崎川	左門殿川	B ロ	生物 B イ	辰巳橋	○	生活環境項目(生物)	Zn	減少	4	→	2	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
大阪府	安威川下流(3)	安威川	B イ	生物 B イ	新京阪橋	○	生活環境項目(生物)	Zn	増加	2	→	4	過去の検出状況等に基づく重点化
大阪府	田尻川	田尻川	A イ	生物 A イ	兵庫県界	○	生活環境項目(生物)	Zn	減少	4	→	2	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
大阪府	一庫・大路次川	一庫・大路次川	A イ	生物 A イ	兵庫県界	○	生活環境項目(生物)	Zn	減少	4	→	2	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
大阪府	石川	石川	A イ	生物 B イ	高橋	○	生活環境項目(生物)	Zn	減少	4	→	2	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
大阪府	大津川上流	大津川	B ロ	生物 B イ	高津取水口	○	生活環境項目(生物)	Zn	減少	4	→	2	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
大阪府	大津川上流	大津川	B ロ	生物 B イ	高津取水口	○	要監視項目	PFOS 及び PFOA	増加	①	→	1	過去の検出状況等に基づく重点化
大阪府	大津川下流	大津川	C イ	生物 B イ	大津川橋	○	要監視項目	PFOS 及び PFOA	増加	①	→	1	過去の検出状況等に基づく重点化
大阪府	松尾川	松尾川	B ハ	生物 B イ	新緑田橋	○	要監視項目	PFOS 及び PFOA	増加	①	→	1	過去の検出状況等に基づく重点化
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール	減少	4	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	生活環境項目(生物)	LAS	減少	4	→	2	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値以下）
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	健康項目	カドミウム、全シアン、六価クロム、総水銀、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン	減少	2	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	健康項目	鉛、砒素	減少	4	→	2	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	健康項目	PCB	減少	1	→	Θ	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、未検出。）3地点のローリング調査とする。(R8：軍行橋→R9：利倉橋→R10：銀橋)
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	健康項目	ふっ素、ほう素	減少	4	→	2	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	健康項目	1,4-ジオキサン	減少	2	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）

測定機関	河川水域名	河川名	環境基準	水生生物の保全	測定地点	環境基準点	測定項目(分類)	測定項目	増減	前	→	後	変更理由
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	特殊項目	銅、溶解性鉄	増加	1	→	2	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	特殊項目	亜硝酸性窒素、硝酸性窒素	増加	4	→	12	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	特殊項目	陰イオン界面活性剤	減少	4	→	1	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	銀橋	○	特定項目	トリハロメタン生成能	増加	2	→	12	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール、LAS	減少	4	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値以下)
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	健康項目	カドミウム、全シアン、六価クロム、総水銀、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン	減少	4	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値の1/2以下)
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	健康項目	鉛、ジクロロメタン	減少	4	→	2	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	健康項目	砒素	減少	12	→	4	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	健康項目	PCB	増減なし	1	→	①	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、未検出。)3地点のローリング調査とする。(R8:軍行橋→R9:利倉橋→R10:銀橋))
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	健康項目	ふっ素、ほう素	減少	4	→	2	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	健康項目	1,4-ジオキサン	減少	4	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値の1/2以下)
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	特殊項目	銅、溶解性鉄	増加	1	→	2	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	特殊項目	亜硝酸性窒素、硝酸性窒素	増加	4	→	12	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	特殊項目	陰イオン界面活性剤	減少	12	→	1	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	特定項目	トリハロメタン生成能	増加	4	→	12	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川上流	猪名川	A イ	生物 B イ	軍行橋	○	要監視項目	イソキサチオン	増加	1	→	2	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	生活環境項目(生物)	ノニルフェノール、LAS	減少	4	→	2	過去の検出状況等に基づく効率化(過去5年間以上、環境基準値以下)

測定機関	河川水域名	河川名	環境基準	水生生物の保全	測定地点	環境基準点	測定項目(分類)	測定項目	増減	前	→	後	変更理由
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	健康項目	カドミウム、全シアン、六価クロム、総水銀、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン	減少	2	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	健康項目	鉛、砒素、ジクロロメタン、トリクロロエチレン	減少	4	→	2	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	健康項目	PCB	減少	1	→	Θ	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、未検出。）3地点のローリング調査とする。（R8：軍行橋→R9：利倉橋→R10：銀橋）
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	減少	12	→	4	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	健康項目	ふっ素、ほう素	減少	4	→	2	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	健康項目	1,4-ジオキサン	減少	2	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	特殊項目	銅、溶解性鉄、溶解性マンガン	増加	1	→	2	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	特殊項目	陰イオン界面活性剤	減少	12	→	1	計画規定回数に効率化
近畿地方整備局	猪名川下流(2)	猪名川	D イ	生物 B イ	利倉橋	○	要監視項目	ホルムアルデヒド	増加	1	→	2	計画規定回数以上の範囲で測定回数を変更
近畿地方整備局	大和川中流	大和川	C ハ	生物 B イ	国豊橋	●	健康項目	鉛	減少	2	→	Θ	過去の検出状況に基づき、ローリング調査に移行（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
近畿地方整備局	石川	石川	A イ	生物 B イ	石川橋	○	健康項目	鉛	減少	2	→	Θ	過去の検出状況に基づき、ローリング調査に移行（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
近畿地方整備局	石川	石川	A イ	生物 B イ	石川橋	○	健康項目	ジクロロメタン	減少	2	→	Θ	過去の検出状況に基づき、ローリング調査に移行（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
近畿地方整備局	大和川中流	大和川	C ハ	生物 B イ	河内橋	○	健康項目	PCB	増加	Θ	→	1	水系で1地点をローリングではなく毎年度調査としたため
大阪市	神崎川	神崎川	B □	生物 B イ	小松橋	●	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	Θ	2年→3年ローリングに移行
大阪市	神崎川	神崎川	B □	生物 B イ	小松橋	●	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	Θ	→	Θ	2年→3年ローリングに移行
大阪市	神崎川	神崎川	B □	生物 B イ	千船橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	Θ	2年→3年ローリングに移行

測定機関	河川水域名	河川名	環境基準	水生生物の保全	測定地点	環境基準点	測定項目(分類)	測定項目	増減	前	→	後	変更理由
大阪市	神崎川	神崎川	B口	生物Bイ	千船橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	寝屋川(2)	寝屋川	C口	生物B口	今津橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	寝屋川(2)	寝屋川	C口	生物B口	今津橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	寝屋川(2)	寝屋川	C口	生物B口	京橋	○	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	4	→	6	令和6年度調査において、基準超過したため重点化。
大阪市	寝屋川(2)	寝屋川	C口	生物B口	京橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	寝屋川(2)	寝屋川	C口	生物B口	京橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	古川	古川	C口	生物Bハ	徳栄橋	○	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	4	→	6	令和6年度調査において、基準超過したため重点化。
大阪市	古川	古川	C口	生物Bハ	徳栄橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	古川	古川	C口	生物Bハ	徳栄橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	第二寝屋川	第二寝屋川	Dイ	-	下城見橋	●	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	第二寝屋川	第二寝屋川	Dイ	-	下城見橋	●	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	平野川分水路	平野川分水路	Cイ	生物Bハ	天王田大橋	○	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	4	→	6	令和6年度調査において、基準超過したため重点化。
大阪市	平野川分水路	平野川分水路	Cイ	生物Bハ	天王田大橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	平野川分水路	平野川分水路	Cイ	生物Bハ	天王田大橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	平野川	平野川	Cイ	生物Bハ	南弁天橋	●	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	4	→	6	令和6年度調査において、基準超過したため重点化。
大阪市	平野川	平野川	Cイ	生物Bハ	南弁天橋	●	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	平野川	平野川	Cイ	生物Bハ	南弁天橋	●	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	平野川	平野川	Cイ	生物Bハ	城見橋	○	生活環境項目(生物)	全亜鉛	増加	4	→	6	令和6年度調査において、基準超過したため重点化。
大阪市	平野川	平野川	Cイ	生物Bハ	城見橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	平野川	平野川	Cイ	生物Bハ	城見橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	大川	大川	Bイ	生物Bイ	桜宮橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	大川	大川	Bイ	生物Bイ	桜宮橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊦	→	㊦	2年→3年ローリングに移行
大阪市	堂島川	堂島川	Bイ	生物Bイ	天神橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊦	2年→3年ローリングに移行

測定機関	河川水域名	河川名	環境基準	水生生物の保全	測定地点	環境基準点	測定項目(分類)	測定項目	増減	前	→	後	変更理由
大阪市	堂島川	堂島川	Bイ	生物Bイ	天神橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	土佐堀川	土佐堀川	Bイ	生物Bイ	天神橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	土佐堀川	土佐堀川	Bイ	生物Bイ	天神橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	道頓堀川	道頓堀川	Bイ	生物Bイ	大黒橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	道頓堀川	道頓堀川	Bイ	生物Bイ	大黒橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	正蓮寺川	正蓮寺川	Bイ	生物Bイ	北港大橋下流700m	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	正蓮寺川	正蓮寺川	Bイ	生物Bイ	北港大橋下流700m	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	六軒家川	六軒家川	Bイ	生物Bイ	春日出橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	六軒家川	六軒家川	Bイ	生物Bイ	春日出橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	安治川	安治川	Bイ	生物Bイ	天保山渡	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	安治川	安治川	Bイ	生物Bイ	天保山渡	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	尻無川	尻無川	Bイ	生物Bイ	甚兵衛渡	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	尻無川	尻無川	Bイ	生物Bイ	甚兵衛渡	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	木津川	木津川	Bイ	生物Bイ	千本松渡	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	木津川	木津川	Bイ	生物Bイ	千本松渡	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	木津川運河	木津川運河	Bイ	生物Bイ	船町渡	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	木津川運河	木津川運河	Bイ	生物Bイ	船町渡	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	住吉川	住吉川	Bロ	生物Bイ	住之江大橋下流1100m	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	住吉川	住吉川	Bロ	生物Bイ	住之江大橋下流1100m	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	東横堀川	東横堀川	Bイ	生物Bイ	本町橋	○	要監視項目	4-tert-オクチルフェノール	減少	①	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
大阪市	東横堀川	東横堀川	Bイ	生物Bイ	本町橋	○	要監視項目	クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド	増減なし	㊥	→	㊥	2年→3年ローリングに移行
岸和田市	春木川	春木川	Cイ	生物Bロ	春木橋	○	特殊項目	溶解性鉄	減少	1	→	㊥	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、全検体値が排水基準値の1/20以下）

測定機関	河川水域名	河川名	環境基準	水生生物の保全	測定地点	環境基準点	測定項目(分類)	測定項目	増減	前 → 後	変更理由
高槻市	檜尾川	檜尾川	A イ	生物 B イ	磐手杜神社	○	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1・4-ジオキサン	減少	2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
高槻市	芥川(1)	芥川	AA イ	生物 A イ	塚脇橋	○	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1・4-ジオキサン	減少	2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
高槻市	-	女瀬川	-	-	天堂橋	●	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1・4-ジオキサン	減少	2 → 1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）

測定機関	河川水域名	河川名	環境基準	水生生物の保全	測定地点	環境基準点	測定項目(分類)	測定項目	増減	前	→	後	変更理由
高槻市	-	番田井路	-	-	玉川橋	●	健康項目	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素、1・4-ジオキサン	減少	2	→	1	過去の検出状況等に基づく効率化（過去5年間以上、環境基準値の1/2以下）
八尾市	恩智川	恩智川	Cイ	生物Bイ	福栄橋下流100m	●	生活環境項目	pH	減少	24	→	12	日採水回数の変更に伴う効率化
八尾市	-	玉串川	-	-	JAグリーン大阪前	●	生活環境項目	pH	減少	16	→	8	日採水回数の変更に伴う効率化
八尾市	-	楠根川	-	-	新家東橋	●	生活環境項目	pH	減少	16	→	8	日採水回数の変更に伴う効率化
八尾市	平野川	平野川	Cイ	生物Bハ	東竹渚橋	●	生活環境項目	pH	減少	16	→	8	日採水回数の変更に伴う効率化
八尾市	-	大正川	-	-	平野川合流直前	●	生活環境項目	pH	減少	16	→	8	日採水回数の変更に伴う効率化



## 2. 「別表1－3 測定方法、環境基準値等一覧表」へのPFOS及びPFOAの指針値等の反映

「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について」（通知「令和7年6月30日環境省水・大気環境局」）において、PFOS及びPFOAの「指針値（暫定）」を「指針値」とし、PFOSとPFOAの合計値として0.00005mg/Lと設定されたことに伴い、水質測定計画「別表1－3 測定方法、環境基準値等一覧表」に反映させる。

また、報告下限値については、令和2年5月28日付け環境省通知付表1に合わせる(0.0000003mg/L)。

## 3. 「別表1－3 測定方法、環境基準値等一覧表」のうち、一部JIS番号等の反映。

全りん、溶解性鉄、陰イオン界面活性剤について、環境省告示（令和7年3月31日環境省告示第36号）の未反映部分について表2のとおり反映する。

表2 測定方法に係る変更内容

R7 年度版	R8 年度版改定検討事項（案）
【生活環境項目 全りん】 JIS K 0102-2 18.4.1 及び 18.4.4(JIS K0102-2 18.4.1.4のb)を除く。)	<u>JIS K 0102-2 18.4</u> (JIS K0102-2 18.4.1.4のb)を除く。)
【特殊項目 溶解性鉄】 JIS K 0102-3 16.3 JIS K 0102-3 16.4 JIS K 0102-3 16.5	JIS K 0102-3 16.3 JIS K 0102-3 16.4 JIS K 0102-3 16.5 <u>令和7年3月31日付け環境省告示第36号付表2</u>
【特殊項目 陰イオン界面活性剤】 JIS K 0102-4 6.2.1	JIS K 0102-4 6.2.1 <u>JIS K 0102-4 6.2.2</u> <u>JIS K 0102-4 6.2.3</u> <u>JIS K 0102-4 6.2.4</u>